

第11回 日本病理学会 カンファレンス

イメージング技術の進歩と 明日の病理学研究・病理診断

会期 2014年8月1日(金)・2日(土)

会場 六甲山ホテル 〒657-0101 兵庫県神戸市
灘区六甲山町南六甲1034

司会人 中村 卓郎 公益財団法人
がん研究会がん研究所

1 分子イメージングが明らかにする細胞動態と病態

広田 亨 (がん研究会がん研究所)
「ライブ・セル・イメージング解析がもたらすがん研究の新展開」

清川 慶子 (金沢医科大学)
「ライブイメージングで生体内情報伝達を観る」

青木 一洋 (京都大学)
「イメージングによる細胞内シグナル伝達系と分子標的薬抵抗性の定量解析」

2 最新イメージング技術の基盤と診断応用

浦野 泰照 (東京大学)
「蛍光プローブの設計開発による術中迅速ライブ疾患イメージング」

鶴山 竜昭 (京都大学)
「病理組織を用いた質量分析イメージングとバイオマーカー検索」

渡辺 恭良 (理化学研究所)
「PET分子イメージングによる創薬・医療イノベーション」

3 *in vivo*イメージングによる疾患研究

上野 博夫 (関西医科大学)
「多色細胞系譜追跡法の幹細胞・発生研究への応用」

佐谷 秀行 (慶應義塾大学)
「イメージングを用いたがん幹細胞の性状解析」

近藤 英作 (愛知県立がんセンター)
「新規ホーミングペプチドを応用した生体内腫瘍イメージング技術の基盤的研究」

高松 哲郎 (京都府立医科大学)
「病理学と先端フォトニクス」



The Japanese Society of Pathology
最新情報は
サイトをご覧ください

 <http://jspc11.umin.jp>

【事務局】がん研究会がん研究所発がん研究部 〒135-8550 東京都江東区有明3-8-31
TEL: 03-3570-0462 FAX: 03-3570-0463 e-mail: jspcnf11@jfcr.or.jp